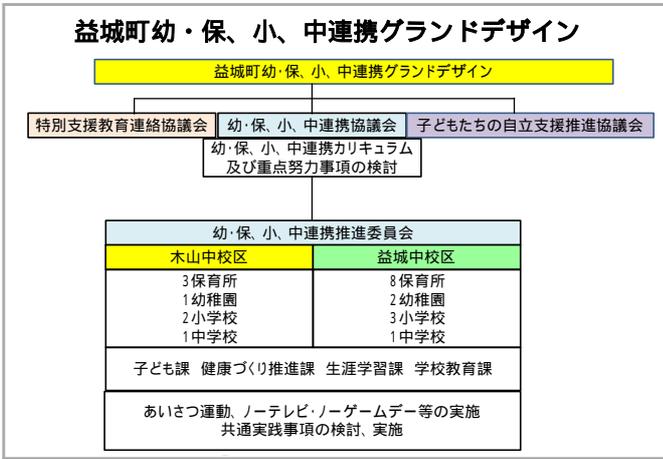


# 幼・保等、小、中連携の推進

## 1 幼・保等、小、中連携ステップの推進状況

8月に実施した幼保等、小、中連携セミナーにおいて、下の連携ステップを紹介しました。自校のステップの進捗状況について確認し、更なるステップアップをめざしましょう。熊本県教育委員会ホームページには、「つなぎ はぐくむくまもとの幼・保連携Q & A」(平成22年3月)など、多くの資料が掲載されています。是非、御活用ください。

幼・保等、小、中連携ステップ			
		熊本県教育委員会	
取組機関	連携の視点	ステップ	連携内容
各機関で	情報連携	ステップ1 a	幼稚園・保育所等、小学校の教員・保育士が入学前に子どもの実態を交換し合う。
		ステップ1 b	幼稚園・保育所等、小・中学校が教育・保育目標、経営案、行事、お便り等を交換し合う。
	行動連携	ステップ2	子ども間の交流を行う。
		ステップ3	幼稚園・保育所等、小・中学校の教員・保育士が相互に教育・保育を参観し合い、事後に意見を交換し合う。
		ステップ4	参観を通じた学びから、指導・援助方法を工夫改善する。
		ステップ5	各校・所(園)に連携担当者を位置付け、幼・保等、小、中連携の全体計画、年間指導計画を作成し、連携・交流を教育課程に位置付けるなど、計画的に実践する。
		ステップ6	子ども間交流におけるチーム体制を明確にして取り組む。
各連絡協議会で	目標連携	ステップ7	連携推進のための組織(連絡協議会等)を作る。
		ステップ8	上記会議を中心に実態を調査し、地域ではぐくむ子ども像を明確にする。
		ステップ9	目指す子ども像をはぐくむ連携カリキュラムを作成する。
		ステップ10	子ども像の育成を目指して連携カリキュラムに沿って、地域で取り組む。



### スタートカリキュラム

**ねらい** 入学当初は、生活科を中核とした総合的・関連的な指導児童に「明日も学校に来たい」という意欲をかき立てる。幼児教育から小学校教育への円滑な接続をする。

全体の流れ	スタートカリキュラムによる流れ	主な指導内容
始業まで	にもつのせいり	荷物の始末・自由遊び
朝の会	けんこうかんさつ	健康観察・朝自習の指示
1校時	にこにこタイム	一日の流れの提示と説明・なかまづくり
2校時	わくわくタイム	総合的な学習
3校時	わくわくタイム	総合的な学習
4校時	(次第に4校時をわくわくタイム)	給食の準備・給食指導・後片付け
給食	へ)たのしい きゅうしよく	歯磨き指導
昼休み	ながよく あそぼう	自由遊び
掃除	びかびか、そうじ	掃除指導・後片付け
5校時	(次第に)わくわくタイム	総合的な学習
帰りの会	ほかほかタイム	一日の反省・帰る準備・連絡

### 授業参観と連絡会

授業参観	連絡会
6月中旬～下旬	授業参観後
5校時 授業参観	各幼稚園・保育所の代表者 1年担任
6幼稚園	情報交換会 児童の様子 卒園児の様子
9保育所に案内(H27)	

### 益城町立益城中央小学校の取組

～発表資料より一部抜粋～

益城中央小学校では、町全体で連携していく中で、関係幼稚園・保育所や中学校と計画的に交流活動の機会を設け、円滑な接続のための実践を継続されています。徒歩では難しい距離の幼稚園との交流は、町のバスを移動に使う工夫をされています。

自校の連携状況、交流内容等を、教育課程や連携ステップの表と照らし合わせ、見直し・改善を図っていきましょう。

